

ディトラマックス取扱説明書



商品概要

本器は、審美補綴物の製作前に、患者の顔貌情報を正確にラボサイドに伝達できる装置です。

本器の使用により、作業用模型上に患者の瞳孔線と顔面正中線を正確に転記することができるため、歯科技工士が、模型上で、患者の顔貌情報を確認することができ、より審美性の高い補綴物を製作することができます。

ご使用前に

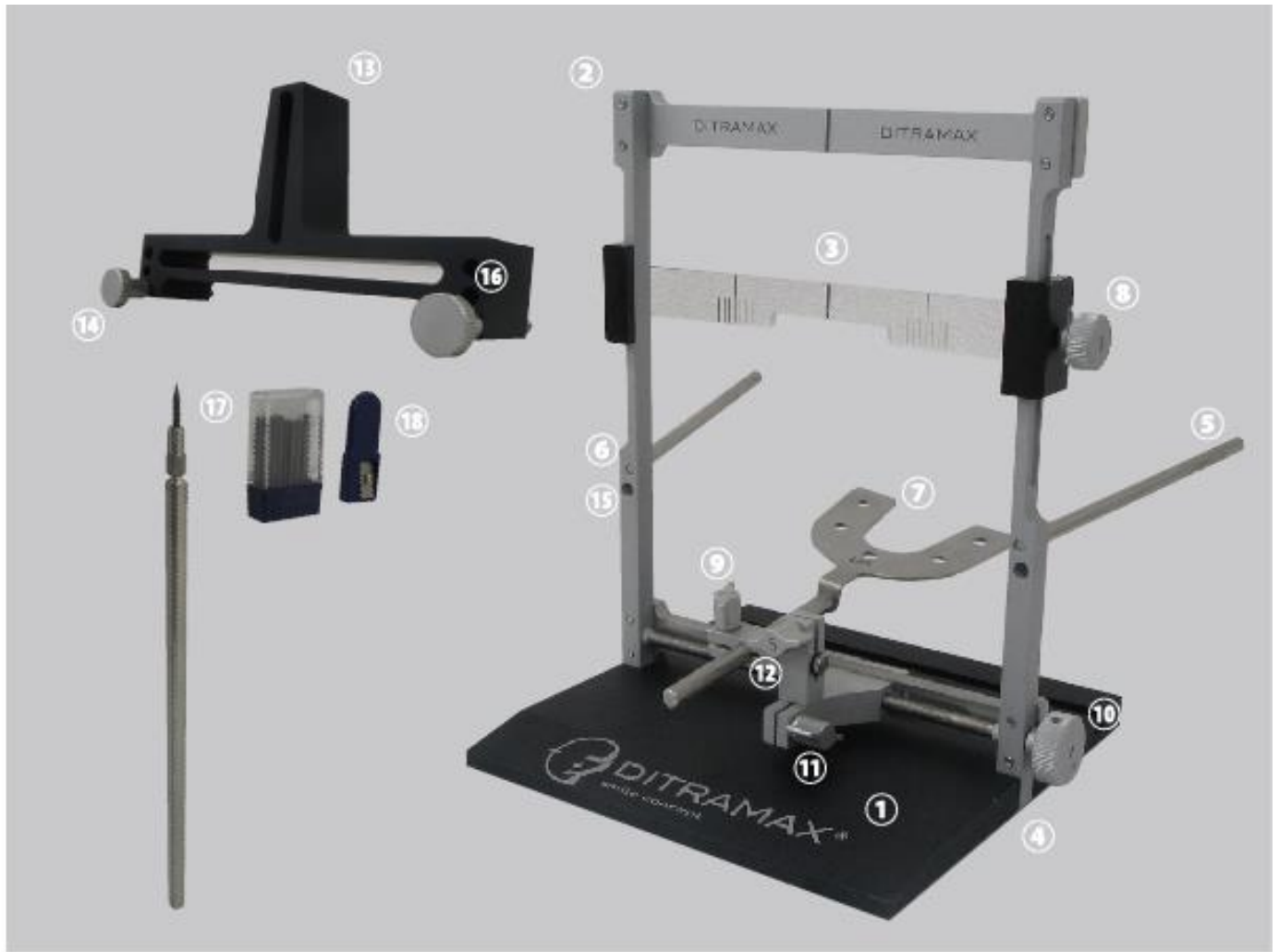
- (1) ご使用に先立ち、必ず本器の添付文書と取扱説明書および同時に使用する機器の添付文書と取扱説明書を熟読し、その内容を十分に理解し、その指示に従って使用してください。
- (2) 本器の添付文書と取扱説明書および同時に使用する機器の添付文書と取扱説明書は、すぐに読める場所に保管してください。
- (3) 併用する医療機器は、本器の使用者が使用を意図する歯科用咬合器です。

構成品



- ① 台座 × 1
- ② フレーム × 1
- ③ カンペル平面ロッド × 2
- ④ トレーステンプレート × 1
- ⑤ 印記用鉛筆 × 1
- ⑥ 印記用鉛筆替芯 × 1
- ⑦ パイトフォーク × 1
- ⑧ 印記用鉛筆芯削り × 1
- ⑨ トレーステンプレート取付ネジ × 2

各種名称



① 台座	⑥ 上部ネジ穴	⑪ 調整ネジ 4	⑮ 下部ネジ穴
② フレーム	⑦ バイトフォーク	⑫ 調整ネジ 5	⑯ トレーステンプレート 高さ調整用ネジ穴 (3穴)
③ 瞳孔線スケール	⑧ 調整ネジ 1	⑬ トレーステンプレート	⑰ 印記用鉛筆、替芯
④ 台座フレーム固定溝	⑨ 調整ネジ 2	⑭ トレーステンプレート 取付ネジ	⑱ 印記用鉛筆芯削り
⑤ カンペル平面ロッド	⑩ 調整ネジ 3		

ディトラマックスの組み立て方

- (1) 台座①を平らな場所に置きます。
- (2) フレーム②を台座フレーム固定溝④に差し込みます。
※取り扱いに際し、瞳孔線スケール③を把持しないでください。瞳孔線スケールを破損することがあります。
- (3) カンペル平面ロッド⑤を上部ネジ穴⑥に、ねじ込みます。ねじ込む際にはフレームを把持し、上部ネジ穴⑥を背面より、ねじ込み方向を確認して取り付け、取り付けたカンペル平面ロッド⑤は、上方向に傾斜し、かつ外開きの状態となっていることを確認してください。

咬合情報の取得



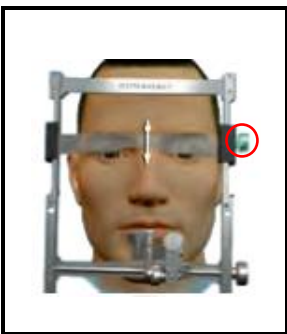
- (1) 汎用シリコーン印象材をバイトフォーク⑦の上面(UP)および下面(DOWN)に盛ります。



- (2) 印象材を盛ったバイトフォーク⑦を口腔内に挿入し、口唇を閉じ、金属面を感じるまでバイト材を咬合させます。
印象材の硬化後、口腔内からバイトフォーク⑦を取り出します。



- (3) 咬合採得したバイトフォーク⑦をフレーム②に取り付けます。
バイトフォーク⑦の上面(UP)を上方向に、下面(DOWN)を下方向に位置させ、バイトフォーク⑦の柄を調整ネジ2⑨を緩めた穴に挿入し、フレーム②の前縁からバイトフォーク⑦の柄の付け根との距離を約 1.5cmを目安にし、バイトフォーク⑦が水平になるように調整し、調整ネジ2⑨を締めて固定します。



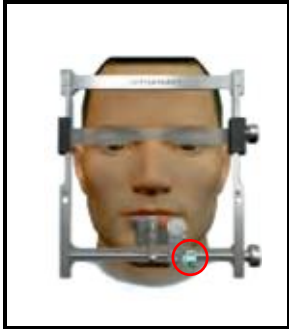
- (4) 調整ネジ1⑧を回し、瞳孔線スケール③を上下させ、片眼で見ながら、左右いずれかの瞳孔の中央にスケール下縁を合せます。



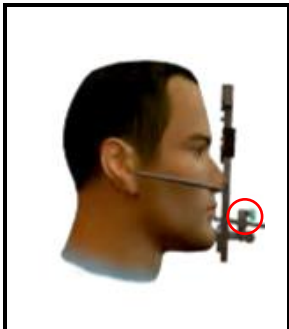
- (5) 調整ネジ2⑨を緩め、フレーム②を左右に傾け、スケール下縁を両瞳孔の中央に合わせます。
決定した位置で、調整ネジ2⑨を締めて固定します。



- (6) 調整ネジ3⑩を回し、フレーム②を左右に動かし、スケールの中央線を目安に正中を決定し、その位置を維持します。



- (7) 調整ネジ4⑪を緩め、左右2本のカンペル平面ロッド⑤と両耳珠との距離が左右側の両方で等間隔になるように、フレームを左右に回転させます。
決定した位置で調整ネジ4⑪を締めて固定します。



- (8) 調整ネジ5⑫を緩め、フレーム②を、顔面に近づけたり、遠ざけたりして、カンペル平面ロッド⑤が耳珠・鼻下点を結ぶ線(カンペル平面)になる位置を決定します。
決定した位置で調整ネジ5⑫を締めて固定します。

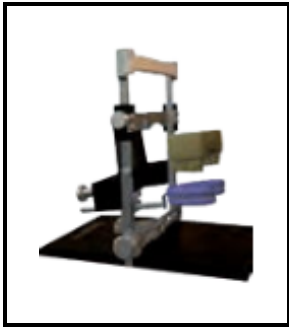
咬合器への転記手順



- (9) デイトラマックスを患者から外し、台座フレーム固定溝④に挿入します。
カンペル平面ロッド⑤を2本とも取り外します。



- (10) トレーステンプレート⑬の矢頭をフレーム②側に向け、トレーステンプレート取付ネジ⑭で、矢印の下方のトレーステンプレート高さ調整用ネジ穴(3穴)⑯で症例に適した高さのネジ穴を選択し、フレームの下部ネジ穴⑮にねじ込んで固定します。



(11) 上顎作業模型をバイトフォーク上の印象に合わせてセットします。



(12) 芯先が鋭く研がれた印記用鉛筆を準備します。



(13) トレースプレート⑬の水平溝に沿って印記用鉛筆を動かし、模型上にラインを印記します。
このラインは瞳孔線(正面から見た場合)とカンペル平面(側面から見た場合)に平行になります。



(14) トレースプレート⑬の垂直溝に沿って印記用鉛筆で垂直線を印記します。
この垂直線は顔面正中線になります。



(15) 作業模型上への転記が完了しました。
印記された上顎模型を、ご使用の咬合器に装着してください。



作業模型上の印記情報を透明な石膏模型硬化材を塗布し、保護することを推奨します。

咬合器への装着

ご使用の咬合器の手順に従い、作業模型に印記された以下の咬合情報をもとに、作業模型を咬合器に装着してください。

- (1) 顔面正中線を合わせます。
- (2) 瞳孔線の平行線を合わせます。
- (3) カンペル平面の平行線を合わせます。

保管方法

- (1) 本器表面の損傷等が腐食のリスクを高めることがありますので、ご使用されない時および輸送にはキャリングケースに戻してください。
- (2) 保管前には腐食を防ぐため必ず乾燥させてください。
- (3) 錆びている器具や化学薬品と一緒に保管しないでください。
- (4) 水のかからない場所に保管してください。
- (5) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生ずる恐れのない場所に保管してください。
- (6) 傾斜、振動、衝撃(輸送時を含む)等に対する安定状態に注意してください。

保守・点検について

保守・点検

【日常点検】 ※使用者による保守点検事項

・機器を正しく使用するために下記項目について、毎使用后、必ず点検を行ってください。

- (1) 構成部品や本体に破損、がたつき、曲がり、摩耗、錆、腐食、変色など不具合の有無。

※不具合が認められた場合には、使用を中止してください。

清掃・洗浄方法

・バイトフォークは印象材を除去し、清掃・水洗し、乾燥させてください。

・バイトフォーク以外は、消毒用エタノールまたは70%イソプロパノール等の使用手順に従って、消毒薬を浸したガーゼ等で拭掃してください。

滅菌方法

バイトフォークは使用の都度、必ずオートクレーブ滅菌を行ってください。

【滅菌条件】

- ・オートクレーブ滅菌にて、134℃、18分間行うこと。
- ・乾燥時間は、使用する機器の使用手順に従うこと。
- ・エチレンオキサイドガス滅菌や乾熱滅菌を使用しないこと。

DITRAMAX[®]
smile concept

 **MORIMURA**

株式会社 モリムラ

〒110-0005

東京都台東区上野 3-17-10

TEL(03)5808-9350 FAX(03)-5808-9351